

# 第7回「日本語体験コンテストinホーチミン」 実施報告書

- 【実施日】 2014年8月30日(土) 予選会 11:15～ 本選会 13:50～
- 【会場】 ベトナム・ホーチミン市 165 NAM KY KHOI NGHIA GUEST HOUSE
- 【主催】 一般財団法人 共立国際交流奨学財団
- 【現地運営団体】 さくら日本語学校
- 【後援】 文部科学省  
在ホーチミン日本国総領事館  
全日本空輸株式会社ホーチミン支店
- 【協賛】 株式会社 共立メンテナンス
- 【協力団体】 ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学  
ドンズー日本語学校  
サイゴンランゲージスクール  
ホンバン国際大学



前列左より HOE 名誉委員、HAI 名誉委員、森審査委員、北原審査委員長、菊川実行委員長、  
藤崎ベトナム総代表(ANA ホーチミン支店)、中野領事(在ホーチミン日本国総領事館)、広瀬氏、  
DANH 名誉委員、DUC 名誉委員、HIEN 氏

後列左より 入賞者5名 TRAN CHAU NGAN、NGUYEN THI LIEN、VU HUE CHI、NGUYEN KIEU TRINH、THAI THIEN HAO

## ＜総評＞

2008 年より始まった「日本語体験コンテスト in ホーチミン」は今年度で第 7 回目を迎えました。

第 7 回コンテストは 8 月 30 日（土）、ベトナム・ホーチミン市 165 NAM KY KHOI NGHIA GUEST HOUSE にて開催致しました。

予選会では、日本の政治、経済、文化、文学、社会、地理など幅広い分野から、聞き取り問題 30 問が出題されました。

コンテスト参加者 57 名中、上位 15 名が予選を通過し、本選会のスピーチコンテストに進みました。

本選会では、その場で出された 3 つのスピーチ課題、①わたしが日本人に紹介したいベトナムの有名人は・・・②私が訪れてみたい日本の世界遺産は・・・③私が社長だったら、日本企業と一緒に作りたいものは……。以上の課題から 1 つを選択し、5 分のシンキングタイムの後、3 分間の即興スピーチを行いました。

そして、審査委員 3 名による審査の結果、入賞者 5 名が選ばれ、賞状と賞品目録が授与されました。

入賞賞品として 2015 年 1 月 19 日（月）～1 月 26 日（月）（7 泊 8 日 一泊機内泊）の日程で日本体験旅行を実施します。

この日本体験旅行で、日本を体験して日本留学の夢を実現する為の旅行にしてもらいたいと思います。そして、日本とベトナム両国の学生の友好交流に役立つことを願っております。

## ＜実施報告＞

### ■ 予選会

予選会	11 : 15～11 : 20	開会の辞・注意事項説明
	11 : 25～	予選 （日本語聞き取り問題 30 問）

日本の政治、経済、文化、文学、歴史、地理、社会、流行などについての聞き取り問題 30 問



受付では、日本の学校パンフレットを配布しました。



予選会には 57 名の学生が参加しました。

### ■ 本選会

本選会	13 : 50～	予選通過者発表
	14 : 00～	開会の辞・審査委員紹介・注意事項説明
	14 : 10～14 : 15	シンキングタイム
	14 : 15～	スピーチ

成績上位者 15 名が本選会へと出場しました！



- 本選会課題：①わたしが日本人に紹介したいベトナムの有名人は・・・  
 ②私が訪れてみたい日本の世界遺産は・・・  
 ③私が社長だったら、日本企業と一緒に作りたいたものは・・・

③の課題を選んだ学生が多く、「日本の農業の機会をベトナムに導入したい」や「日本語とベトナム語の電子辞書をつくりたい」など、興味を惹く内容ばかりでした。



3 分間の日本語即興スピーチ

## ■ アトラクション

各日本語学校が様々なアトラクションを披露し、会場を盛り上げてくれました。



ドンズー日本語学校 「よさこい」



ドンズー日本語学校  
「恋するフォーチュンクッキー」



ドンズー日本語学校 「合気道」



ドンズー日本語学校 「ベトナム、私の郷土」



さくら日本語学校  
「よさこいソーラン節」



サイゴンランゲージスクール  
「Best Friend」

## ■ 表彰式

表彰式	16：30～	「夢・日本体験賞」発表（5名）
-----	--------	-----------------

### 式次第

- 一、開会の辞
- 一、実行委員長挨拶
- 一、来賓挨拶
- 一、審査委員長講評
- 一、賞状授与
- 一、閉会の辞



菊川実行委員長挨拶



来賓挨拶 藤崎ベトナム総代表  
全日本空輸株式会社ホーチミン支店



北原審査委員長 講評



入賞者5名に理事長より賞状と目録を授与

### 【入賞者】『夢・日本体験賞』



氏名	所属学校(日本語学校)
ゲン ティ リエン NGUYEN THI LIEN	人文社会科学大学
タイ ティエン ハオ THAI THIEN HAO	ドンズー日本語学校
ゲン キュー ティン NGUYEN KIEU TRINH	サイゴンランゲージスクール
チャン チャウ ガン TRAN CHAU NGAN	人文社会科学大学 (ドンズー日本語学校)
ヴー フェ チ VU HUE CHI	国際大学 (さくら日本語学校)

# 講 評



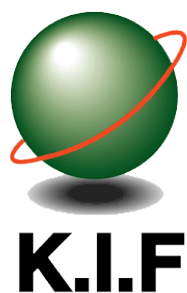
## 審査委員長 北原 賢三

神田外語大学 特任教授 兼 キャリア教育センター長  
一般財団法人 共立国際交流奨学財団 評議員・選考委員

ベトナム、ホーチミン市での日本語体験コンテストには 90 名近くの応募者が集まった。いつものように、日本語・日本文化に関するヒアリング・テストを実施した上で 15 名のスピーチ出場者が選ばれた。予め与えられた 3 つのテーマの中から一つを選び、5 分間スピーチ内容を考えて、3 分間のスピーチを行った。

15 名のスピーカーの選んだテーマはそれぞれユニークで興味深いものだった。例えば、日本企業の技術力を利用して、ベトナム向けの商品を開発していくという内容で、具体的な商品として「ライス・ペーパー」を取り上げていた。その他、日本企業と提携し、日本の農業機械を導入し、ベトナムの農業を機械化し、同時に親の農作業を楽にしてやりたいという内容のものもあった。これは普段、親の農作業を身近に見ていて、重労働を何とかしてやりたいという思いでスピーチしたものだろう。おもしろい内容としては、ベトナムに自動販売機（ATM）を輸入して設置し、色々な商品を販売し、生活を便利にしたいという内容のものがあつた。これは日本では自動販売機はもはや意識することもないほど普及しているので、日本人には気がつきにくい内容であつた。また他には、ベトナムの伝統芸能研究家を紹介しているものがあり、日本語スピーチ力ともどもレベルの高い内容であつた。今回は、評価する基準として、スピーチのテーマに興味が起こるか、テーマの内容が明瞭か、何を説明したいのかが明確かで決定された。ベトナムは日本語学習熱も高く、日本語のレベルも年々高くなっているようだ。そうすると、スピーチ内容もユニークなものが求められてくるだろう。いつも感じるがベトナムにしかないものや、ベトナムでの有名人を紹介する内容のスピーチは難しい。よほど分かりやすい日本語で説明しないと、審査員の注意を引かない。ともあれ、今回のスピーチ内容はどのスピーカーも短い時間で考えて精一杯スピーチをしていて、とても好感が持てた。この経験を活かし、分かりやすい日本語を修得することを期待したい。





## 一般財団法人 共立国際交流奨学財団

所在地：〒101-0021

東京都千代田区外神田 2 丁目 18 番 8 号

T E L : 03-5295-0205

F A X : 03-5295-0206

U R L : <http://www.kif-org.com>

